



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 ダイナパック株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 3947 URL https://www.dynapac-gr.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 喜久雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 篠岡 尚久 TEL 052 (971) 2651  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	27,218	9.0	537	967.2	1,043	315.0	763	533.5
2020年12月期第2四半期	24,963	△7.0	50	—	251	29.5	120	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 △836百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 1,710百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	77.05	76.99
2020年12月期第2四半期	12.18	12.17

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	64,026	37,879	59.1
2020年12月期	66,862	39,214	58.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 37,821百万円 2020年12月期 39,160百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	5.2	1,200	65.4	1,700	59.6	1,200	28.5	121.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	10,322,591株	2020年12月期	10,322,591株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	404,903株	2020年12月期	419,018株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	9,909,647株	2020年12月期2Q	9,894,739株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出では緩やかな増加が続き、企業収益や設備投資では持ち直しの動きもみられましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、サービス支出を中心に個人消費は弱い動きとなり、依然として厳しい状況で推移しました。海外経済においても、一部の国々では順調なワクチン接種により、経済活動の再開が進んでおりますが、変異株による断続的な感染拡大の波が発生している状況に変わりはなく、さらに米中対立や半導体需給ひっ迫の影響もあり、先行きが不透明な状況が続きました。

段ボールの国内生産動向は、1－6月累計数量（速報値）では前年比104.1%と、電機・機械分野を中心に前年からの回復がみられました。

このような環境下、当社グループの国内販売数量は、段ボールケースでは、主力の食品分野においては、外出自粛や時短営業の影響を受けたギフト、業務用需要の減少は続きましたが、通販や電機・機械分野の需要増があり、前年比103.1%となりました。段ボールシートでは、昨年コロナ禍で大きな影響を受けたボックスメーカーの業績回復により、前年比106.5%と大きく伸長しました。

収益面においては、段ボールの販売数量の増加に加えて、印刷紙器事業の寄与により、利益計上となりました。

海外においては、主原材料価格が高い水準で維持されたことに加えて、当社の進出している東南アジア地域において、新型コロナウイルス感染拡大による企業活動の制約が足かせになり収益面では厳しい状況となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、272億18百万円(前年同期比109.0%)、営業利益5億37百万円(前年同期比1,067.2%)、経常利益10億43百万円(前年同期比415.0%)および親会社株主に帰属する四半期純利益7億63百万円(前年同期比633.5%)となりました。

セグメントの業績の状況は次のとおりであります。

#### ① 包装材関連事業

当セグメントにおきましては、売上高は288億12百万円(前年同期比108.4%)、セグメント利益(営業利益)は5億43百万円(前年同期比840.3%)となりました。

#### ② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は1億91百万円(前年同期比99.8%)、セグメント利益(営業利益)は1億56百万円(前年同期比98.0%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億36百万円減少し640億26百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ保有株式の株価下落にともなう投資有価証券残高の減少などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ15億1百万円減少し261億46百万円となりました。これは、主に投資有価証券の含み益の減少に伴う繰延税金負債の減少などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ13億35百万円減少し378億79百万円となりました。これは、主に保有している投資有価証券の時価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少などによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し21億79百万円となりました。これは、営業活動により得られた資金22億68百万円、投資活動により使用された資金10億66百万円および財務活動により使用された資金12億56百万円によるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は22億68百万円（前年同期は16億46百万円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益を9億96百万円計上したことおよび減価償却費を9億24百万円計上したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用された資金は10億66百万円（前年同期は11億44百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億74百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用された資金は12億56百万円（前年同期は3億28百万円）となりました。この主な要因は、短期借入金の減少5億16百万円、長期借入金の返済2億24百万円および配当金の支払4億94百万円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の日本経済は、中期的には緩やかな回復が予想されるものの、ワクチン接種の浸透や感染症の収束時期の見通しが不透明な状況で、当面は不確実性が高い状況が続くことが見込まれます。海外においては、持ち直しが続くことが期待されておりますが、感染の再拡大による景気の下振れリスクに十分に留意する必要があります。

このような環境下において当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んだ需要の回復期を次なる成長に向けた準備をする期間と捉えた2021年から2023年の3か年を対象とする中期経営計画のもと、構造改革による「収益力強化」、海外事業の「持続的成長」、新たな日常への「変化対応力強化」の3つの重点課題を推進し、収益体質への転換を確実なものとするとともに、さらにその先の成長に向けた取組みを進めてまいります。

なお、2021年2月5日の決算発表時に公表しました第2四半期および通期の業績予想につきましては2021年8月5日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照願います。

また、配当予想につきましては、当社の利益配分の方針および業績予想数値を鑑み、現時点におきましては2021年2月5日に公表しております1株当たり50円の期末配当予想を据え置くこととしております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,228,264	2,179,103
受取手形及び売掛金	15,868,653	15,226,023
商品及び製品	857,105	1,027,349
仕掛品	282,996	279,764
原材料及び貯蔵品	1,624,267	2,053,337
その他	562,858	518,337
貸倒引当金	△37,982	△6,492
流動資産合計	21,386,162	21,277,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,896,625	18,133,067
減価償却累計額	△12,291,719	△12,581,284
建物及び構築物 (純額)	5,604,905	5,551,783
機械装置及び運搬具	28,218,732	28,590,013
減価償却累計額	△22,796,199	△23,214,523
機械装置及び運搬具 (純額)	5,422,533	5,375,489
土地	9,180,430	9,189,027
その他	3,799,406	4,117,707
減価償却累計額	△2,783,625	△2,884,930
その他 (純額)	1,015,781	1,232,776
有形固定資産合計	21,223,651	21,349,076
無形固定資産		
のれん	517,509	459,584
その他	298,731	284,157
無形固定資産合計	816,240	743,742
投資その他の資産		
投資有価証券	22,449,633	19,613,536
繰延税金資産	79,770	88,304
その他	936,166	984,665
貸倒引当金	△28,744	△30,687
投資その他の資産合計	23,436,826	20,655,819
固定資産合計	45,476,717	42,748,638
資産合計	66,862,880	64,026,061

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,155,031	11,109,358
電子記録債務	2,818,902	2,856,314
短期借入金	828,068	315,900
1年内返済予定の長期借入金	370,460	298,944
未払法人税等	203,523	345,398
賞与引当金	257,633	257,665
その他	3,259,814	3,287,069
流動負債合計	18,893,434	18,470,650
固定負債		
長期借入金	738,423	585,738
繰延税金負債	5,138,484	4,182,142
退職給付に係る負債	2,457,292	2,487,910
その他	420,333	419,816
固定負債合計	8,754,533	7,675,607
負債合計	27,647,967	26,146,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	9,409,935	9,643,828
自己株式	△924,730	△893,247
株主資本合計	29,471,884	29,737,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,206,072	8,257,102
為替換算調整勘定	△325,006	△386
退職給付に係る調整累計額	△192,483	△172,150
その他の包括利益累計額合計	9,688,582	8,084,565
新株予約権	8,370	8,370
非支配株主持分	46,076	49,607
純資産合計	39,214,912	37,879,803
負債純資産合計	66,862,880	64,026,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	24,963,024	27,218,941
売上原価	20,854,042	22,484,822
売上総利益	4,108,982	4,734,118
販売費及び一般管理費	4,058,607	4,196,532
営業利益	50,374	537,586
営業外収益		
受取利息	508	8,341
受取配当金	212,245	223,846
為替差益	—	127,835
持分法による投資利益	—	1,352
雑収入	114,868	180,930
営業外収益合計	327,622	542,306
営業外費用		
支払利息	14,246	11,826
為替差損	76,412	—
持分法による投資損失	4,237	—
固定資産除却損	8,528	9,641
雑損失	23,011	14,480
営業外費用合計	126,436	35,947
経常利益	251,560	1,043,945
特別損失		
子会社株式売却損	—	47,308
特別損失合計	—	47,308
税金等調整前四半期純利益	251,560	996,637
法人税、住民税及び事業税	107,888	310,806
法人税等調整額	23,194	△81,192
法人税等合計	131,083	229,614
四半期純利益	120,476	767,022
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△50	3,515
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,527	763,507

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	120,476	767,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,627,180	△1,948,954
為替換算調整勘定	△64,323	324,620
退職給付に係る調整額	27,410	20,332
その他の包括利益合計	1,590,266	△1,604,001
四半期包括利益	1,710,743	△836,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,711,194	△840,509
非支配株主に係る四半期包括利益	△451	3,531

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	251,560	996,637
減価償却費	871,924	924,556
のれん償却額	57,924	57,924
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△37,270	△358
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	61,529	50,950
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,872	△27,991
受取利息及び受取配当金	△212,754	△232,188
支払利息	14,246	11,826
持分法による投資損益 (△は益)	4,237	△1,352
子会社株式売却損益 (△は益)	—	47,308
売上債権の増減額 (△は増加)	2,362,802	601,871
たな卸資産の増減額 (△は増加)	34,851	△529,879
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,623,307	86,561
その他	△94,816	235,603
小計	1,710,799	2,221,469
利息及び配当金の受取額	212,754	232,188
利息の支払額	△14,447	△11,823
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△262,649	△173,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,646,456	2,268,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△650,731	△974,098
有形固定資産の売却による収入	31,977	793
投資有価証券の取得による支出	△15,459	△15,483
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△488,121	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△63,157
貸付けによる支出	△1,900	△21
貸付金の回収による収入	5,857	1,253
その他	△26,404	△15,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,144,782	△1,066,078
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	393,088	△516,765
長期借入金の返済による支出	△204,233	△224,201
配当金の支払額	△494,127	△494,890
自己株式の取得による支出	△242	△642
その他	△23,335	△20,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△328,851	△1,256,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,435	4,660
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	212,258	△49,161
現金及び現金同等物の期首残高	1,997,725	2,228,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,209,984	2,179,103

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	包装材 関連事業(注) 2	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	24,789,758	173,266	24,963,024	—	24,963,024
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,784,787	18,360	1,803,147	△1,803,147	—
計	26,574,545	191,626	26,766,171	△1,803,147	24,963,024
セグメント利益	64,654	159,332	223,987	△173,612	50,374

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△173,612千円には、主に事業セグメント間取引消去6,640千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,966千円、および未実現利益消去△4,306千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 包装材関連事業におけるセグメント間の内部売上高又は振替高は、包装材関連事業内における事業セグメント間の取引であります。
- セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	包装材 関連事業(注) 2	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	27,046,053	172,888	27,218,941	—	27,218,941
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,766,924	18,360	1,785,284	△1,785,284	—
計	28,812,977	191,248	29,004,225	△1,785,284	27,218,941
セグメント利益	543,322	156,193	699,515	△161,928	537,586

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△161,928千円には、主に事業セグメント間取引消去9,107千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△168,650千円および未実現利益消去△148千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 包装材関連事業におけるセグメント間の内部売上高又は振替高は、包装材関連事業内における事業セグメント間の取引であります。
- セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。